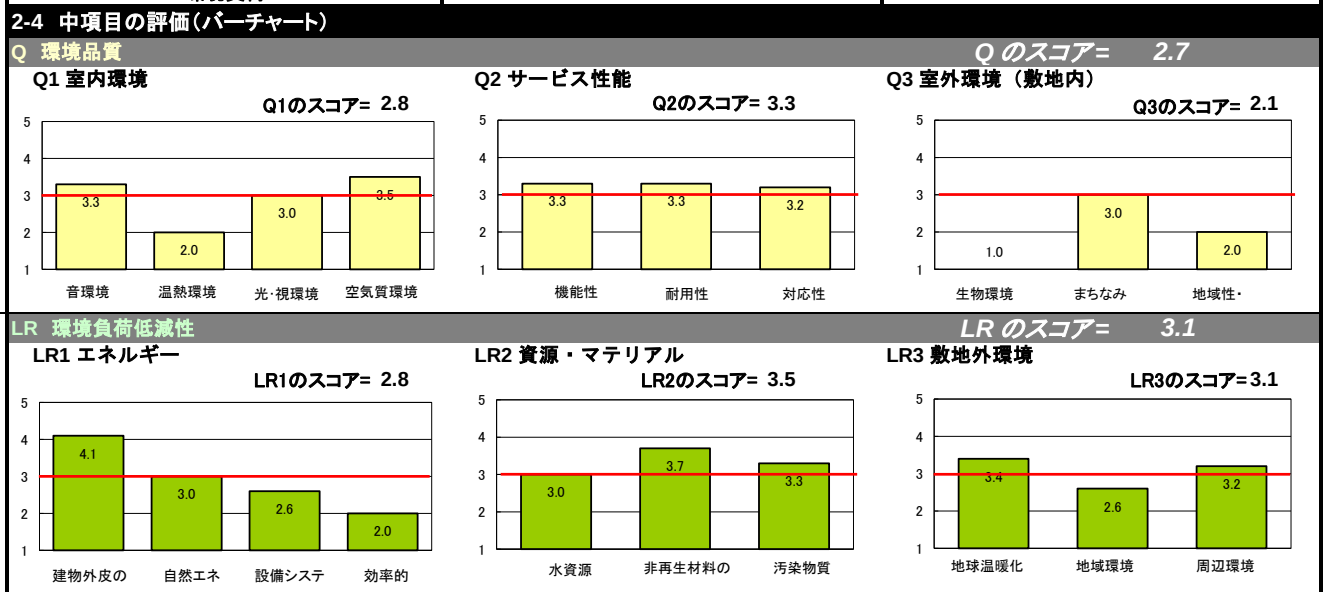
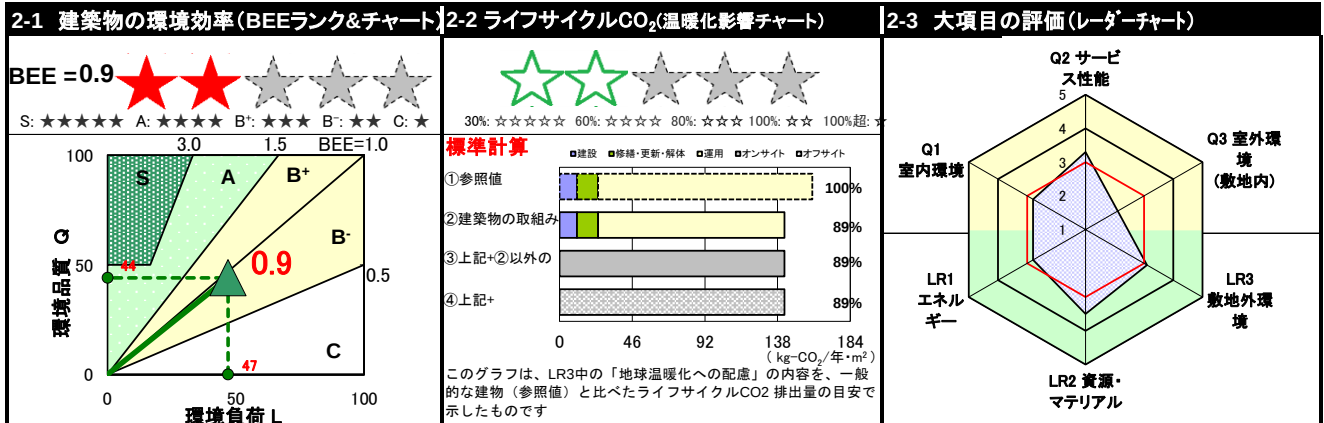


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)アパホテル(熊谷駅前北)新築工事	階数	14階	
建設地	埼玉県熊谷市筑波一丁目179番1	構造	S造	
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	561 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2026年4月 予定	評価の実施日	2024年7月24日	
敷地面積	634 m ²	作成者	(株)町設計室 町 洋人	
建築面積	363 m ²	確認日	2024年7月24日	
延床面積	4,035 m ²	確認者	(株)町設計室 町 洋人	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
「新都市型ホテル」 外観・内観・照明に至るまで、専属顧問デザイナーによるトータルデザインを行っている。 ブランドイメージを守りつつ、景観に配慮した色彩計画・サイン計画を行っている。		取り組みなし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
屋光率を高めに設定し、また、カーテンを採用するなど光・視環境に配慮している。 また、F☆☆☆☆☆建材を全面的に採用し、空気質環境にも十分配慮している。	壁長比率を小さくすることにより空間にゆとりをもたせている。 補修必要間隔の長い外壁材、仕上材、配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。	防犯カメラを設置し、防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
全照明にLEDを採用し、ホテルの視認性は重視しつつポイントを絞った照明計画でエネルギー面に配慮している。	定量止水栓の導入などにより、一般的な都市型ホテルに比べて1室あたりの炭酸ガス排出量を抑え、更に、水資源の保護にも配慮している。	ライフサイクルCO ₂ 排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。 適切な量の駐輪場(バイク置場)、荷捌用駐車場を計画し、利便性に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE埼玉県

重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)アパホテル(熊谷駅前北)新BEE	0.9	BEEランク	★★
------	----------------------	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.4	+	1.6	=	5.0
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.4
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.4
<配慮した内容を記述> ライフサイクルCO2排出率を参照値より抑制			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
<配慮した内容を記述>			

: 入力欄